

## 「賜物の共同体」

## 1) はじめに

- ・賜物は倫理的（謙遜・柔和・忍耐・愛など）な文脈の中で語られる
- ・賜物は愛との係わりで語られる
- ・賜物についての参考箇所
  - ・ローマ 12 章全体・I コリ 12 ~ 14 章全体・エペソ 4 章全体
- ・賜物のリスト
  - ・知恵の言・信仰・知識の言・いやしの賜物・力あるわざ・預言・霊を見分ける力・種々の異言・異言を解く力・使徒・教師・補助者・管理者・勧めをする者・寄付する者・慈善をする者・伝道者・牧師以上 18 のリスト

## 2) 本文

(1 ~ 2) ・イエスは主である

- ・こころを新たにすること（回心ではなく更新）

(3 ~ 5) ・倫理的なこと（謙遜） エペソ 2 : 10 備えられた「良い行い」

- ・キリストにあって一つの体（選択する事柄ではない）

(6 ~ 8) ・賜物のリスト

預言・奉仕・教える人・勧めをする人・分け与える人・指導する人・慈善を行う人

(9 ~ 10) ・賜物と愛との係わり

愛は賜物と係わり、なおかつ賜物とは異なるものとして描かれる I コリ 13 章

## 3) まとめ

- ・賜物のリストは賜物の重要性・賜物の順位を表さない　しかし働きは違う
- ・賜物のうち、ある特定の賜物を職務とすると賜物の意味が曖昧になる
- ・イエスを主と告白する
- ・賜物はキリストのからだを建て上げるために寄与する
  - ・賜物は自己完成のためではない
  - ・自分の霊的満足のためではない